

♪ 昭和のお雛様を訪ねて

三月三日は、桃の節句。

最近のお雛様事情は、従来の七段飾りは影を潜め、親王飾りやケース雛などが、主流のようですが、先日、ちょっと昔のお雛様を訪ねて、調布市郷土博物館で昭和のお雛様を見せていただきました。



ひとつは、「御殿雛」と言って、昭和の初期から三十年代に流行っていたそうです。平安朝の御殿の中に内裏様とお雛様が納まり、庭には五人囃子などが並び、さながらその当時の宴たけなわの様子を再現しているかのような豪華さでした。

もうひとつは、「震災を免れたお雛様」と題してあり、阪神淡路大震災の時に、全壊した家から奇跡的に難を逃れたお雛様が、ご縁で調布にやって来たそうです。あの悲惨さが感じられないくらいに美しいお雛様でした。調布市郷土博物館では、3月いっぱい飾られるということです。(chun)

♪ 利再来留館(リサイクルカン)

調布市が粗大ごみの中で良品の物を選んで再生し、安価で販売するリユース品展示場を今年の11月に新設した。場所は調布市富士見町3丁目2番1。中央自動車道高架下にある。以前は市役所の前庭で展示即売会を行っていたが、今は毎週月曜日～金曜日と第2土曜日の午前9時30分～12時、と午後は1時～3時30分の間、常時展示販売をしている。右の写真は重厚な感じのダークブラウンのチェスト。¥3000+お届け料¥1000で展示されていた商品である。家具類のほかゴルフセットなどが置いてあり、アイアンがよりどりみどりオール¥100/1本だった。家具や寝具等の再生はこの利再来留館の隣接場所で行っている。現在、深大寺東町7丁目では都下で唯一、家電製品を分解して電子基板等のレアメタル複合部品を分別して業者に有償で引き取って貰う作業をしている。調布市民放送局では取材した40秒の情報番組を3月1日～15日の間J:COM(111ch)で放送する。(オキータ)



なやなやなやなやな

最近なぞかけでブレイクしているお笑いコンビがいますが、そもそも「なぞなぞ」と「なぞかけ」はどう違うのでしょうか。

なぞなぞは二段なぞといつて問いの部分と答えの部分で二段になってます。なぞかけは問いの部分が二段になっていて「そのころは」と共通イメージを引き出して答えにするという方法で三段に分かれています。例えばなぞなぞで「サイコロの目で一番やる気が出る目は何？」答えは「1」「目の色がわかる」。これをなぞかけにすると「どものやる気とかけ何ととく」とのいきました「サイコロととく」そのころは「一番になると目の色が変わります」となります。直接的ななぞなぞは子供が得意で、イメージが必要ななぞかけは大人が得意です。では、子供の得意ななぞなぞを二題出して見ますので考えてください。

問一、「都会の真ん中にある虫は何？」

問二、「逆立ちすると軽くなる動物は何？」
つたない自作のなぞかけをひとつ。

「宇宙と掛けて何ととく」とのいきました「パソコンでキーを打ちそこなった時ととく」そのころは「スペース(シャトル)が飛びます」オソマツ。

今回はいつもの次号まで答えを待つクイズは有りません。前号の答えは「パスカル」です。なぞなぞ問一の答えは「蚊」。問二の答えは「イルカ」でした。(オキータ)

★ご意見・ご感想をお寄せください！！

★大募集◎番組制作メンバー◎運営メンバー◎会員・賛助会員・法人会員
◎資金・場所などを支援くださる方 等々

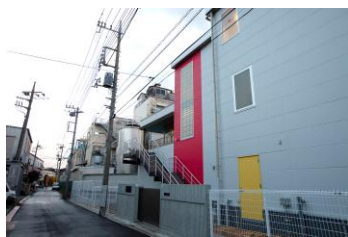
♪ “ホッピービバレッジ” 新工場完成！

昨年1月に、「調布CATCH」番組でご紹介した「ホッピービバレッジ調布工場」に新生産ラインが完成し、そのお披露目会が2月7日に開かれました。



これまで稼働している工場の奥に、真新しいモダンな建物ができました。名付けて「第3世代感動工場」。3代目美奈社長いわく、「工場に来た人が感動できる、生産工場のお手本のような元気をもらえる工場」を目指しているそうです。新ラインはリターナブル瓶専門に、創業101年目を迎える3月6日に本稼働します。

「調布CATCH」番組でホッピーをと考えたきっかけは、道路から見える瓶詰めされたホッピーのラインが珍しかったことです。「えっ、ホッピーって調布で作っているの？」が最初に思ったこと。なんと、調べてみると、41年前に赤坂から調布へ工場を移転し、以来ずっと調布だけで生産を続けていることがわかりました。従来の工場は確かにかなり手狭に感じましたが、ただの生産工場とは思えないユニークさがありました。（ホームページで映像番組をぜひご覧ください！）昨今のノンアルコールビールの流行やイメージアップを図った営業の成果で生産量が増え続けているそうで、新工場の新しい機械で更に美味しいホッピーを生産できるとのことです。



奥が従来からの工場、手前が
新工場
(調布市多摩川1丁目)

3代目社長の美奈さんは、現会長石渡光一さんのお嬢さん。早稲田大学ビジネススクールで学び、この1月に修士論文を提出し、お披露目会の前の週に口述試験が終わったところだったそうです。経営に関して研究熱心であるだけでなく、若い社員の教育にも熱心。社員皆さんのはつらつとした言動が印象的でした。

一市民としても応援したくなるような、元気のある会社です。

ちなみに、昨年取材以来すっかりホッピーファンになり、うちの冷蔵庫には常に黒ホッピーが入っています。(mizu)

♪ ご隠居さんのひとり言 “叱る” と “怒る”

先日、西友横の電通大通りを散歩していた時に、一組の親子を見た。5～6歳くらいの男の子を連れた父親と思しきアラフォーの人がベビーカーに幼児を乗せて歩いていた。何か様子がおかしい、と思いきよく観察すると、男の子のズボンが相当濡れている。一歩踏み出すたびに滴が落ちるほどだ。どうも、ゲームに夢中になり過ぎて、激しく？お漏らしてしまっただけらしい。父親の罵声、「お前は何かをやっていると他のことを忘れてしまう。今度やったら、ぶっ殺すぞ！！ わかったか！！」、と怒り心頭に達している模様。その子は半べそをかきながらとぼとぼついて行く。周囲の眼を気にすることも無く、大声で怒鳴る父親を見ていると、「何かをやっていると他のことを忘れてしまう」のは遺伝のような気もするが、

さて、この情景、怒っているのか、叱っているのか？



国語辞書：大辞泉によると、

おこる【怒る】 不満・不快なことがあって、がまんできない気持ちを表す。腹を立てる。いかる。

しかる【叱る・呵る】(目下の者に対して)相手のよくない言動をとがめて、強い態度で責める。

一般的には、“怒る”は自分の立腹具合を相手に感情的にぶつけること、一方、“叱る”は、相手の過ちをわからせるために働きかけること、と理解できる。だから、「子供に対して、叱っても良いが怒ってはいけない！」、と言われる所以だ。先に挙げたこのケースは、はたしてどちらか？

【こんなご協力をいただいております】

照明機材：(株)アークシステム マイクロホン：アツデン(株)

カメラ：(株)StudioDU

サーバー：国立大学法人電気通信大学、(株)アニー

その他多くの方にご協力を頂いております。ご協力に感謝申し上げます。

♪FC 東京応援記 FC東京(株)阿久根新社長を囲む会

去る2月8日(火)グリーンホール(小)にて、FC 東京調布市民の会(以下、“市民の会”)の主催で行われた。市民の会は、市内の有志(勇士?)の手により2004年に創設された。府中や三鷹にあるようなサポーターの集まりではなく、より地域に根付く活動形態を想定している。趣意書から引用してみよう。「FC東京の更なる飛躍を市民、行政、企業が一致協力してサポートし、地域経済、教育、観光といった幅広いまちづくりの推進に役立てることを目的」としている。したがって広く会員募集、というようなことはやっていない。お互いに顔の見える関係の仲で地道に深く活動している。

今回の開催もその一環、地味な事前告知にもかかわらず、各方面から約30名の参加をみた。市民の会、FC東京スタッフに加え、調布 JC、調布市商工会、調布市職員、市議会議長、社会福祉協議会、CLIC、調布市サッカー協会、スポボラ ちょうふどっとこむ、182チャンネル、などなど、まさに調布をリードしている相当な方々が列席し、それぞれが、自己紹介の後、FC東京に対する熱い想いを語った。

阿久根新社長は1961年生まれ、所沢リトル出身で調布リトルにはコテンパンにやられた由。早稲田実業からの同級生が現早実監督の和泉氏で、早大時代も含めずっと一緒に野球をやってきた、とのこと。東京ガスに入社後も野球をやってきたが、今回、突然の人事異動で決まったらしい。

“遺憾ながらのJ2降格だが、目標は明確、勝ちにこだわり、強くなってJ1に復帰すること。そのためには選手の自立が重要。自分で考え体現できるチームにすることだ”、とご挨拶。事実、就任まもなく、迅速な行動のひとつとして、ラグビー・トップリーグの東芝ブレイブルーパスの練習を見学するために、選手を引率し、日本選手権6度の優勝を誇る常勝軍団から、勝者のメンタリティーを学ぶ機会を持つたりもした。

ちなみに、FC 東京の今季のチームスローガンは「TOKYO SPIRIT ～すべては勝つために～」。「SPIRIT」は、Speed(スピード)、Personality(個性)、Independence(自立)、Race(競争)、Insight(状況判断) Technique(テクニック)の要件の頭文字。

大熊監督も、“一人ひとりと面接し、自分で目的を持って実践するよう指導する”とのことなので、東京の“お坊ちゃん”サッカーからのたくましい成長を、乞うご期待。

3月5日のJ2リーグ開幕戦(対サガン鳥栖戦)のキックオフ前に、東京スカパラダイスオーケストラのスペシャルライブも行われるとのことなので、みんなで、味スタへ行こう!!! (調布のヨーコ)

【耳よりなお話】 調布市民放送局の番組に出演・ご協力いただいた方々の情報です。

★「春の地域デビュー歓迎会」

日時:平成23年3月19日(土)
場所:文化会館たづくり12階 大会議場
プログラム:14時～講演「愛と勇気とサム・マネー」
15時35分～「笑いヨガ エクササイズ」
16時～「古典落語」
入場料:無料

★深大寺手作り市

日時:3月26日(土)3月27日(日)
9時～16時(雨天中止)
場所:深大寺 深沙の杜
主催:調布一樹会
問合せ先:0422-33-0375

★劇団21世紀FOX公演情報「ゴジラ」

日時:3月4日(金)5日(土)14時～、19時～
3月6日(日)15時～
場所:劇団アトリエ(中央道深大寺バス停近く)
チケット:¥1700
問い合わせ:042-480-2125

★布多天神社のつくる市

日時:毎月第1日曜日(3月6日)
9時～11時
場所:布多天神社
主催:調布一樹会
問合せ先:090-9684-2692

<調布市民放送局ニュースが手に入ります>

- ◆図書館(本館、分館) ◆教育会館 ◆調布 FM ◆調布市商工会館 ◆調布市総合福祉センター
- ◆深大寺 ◆市民活動支援センター ◆居酒屋『淡菜房』 ◆ジェイコムショップ

2011年3月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞

- ◆ 野村證券ショーウィンドー(毎週月曜～金曜 11時～12時半)
- ◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」
- ◆ 調布市観光案内所『ぬくもりステーション』(一部番組のみ)



調布 C A T C H J:COMにて放送 (放送日時の変更有り)

月	火	水	木	金	土	日
15:15 17:15	11:10 17:15	11:10 17:15	11:10 17:15	11:25 17:15	11:25 17:15	11:25 17:15

テレビ番組

1日	① タスキでつなぐ17.9km～調布七中陸上部～ 今年も「調布市民駅伝競走大会」が盛り上がりました。今回は、調布市立第七中学校陸上部生徒たちが頑張って取り組む様子取材しました。	
15日	② 古天神公園の梅 古天神公園の梅が咲きました。この公園は一年を通して香りが楽しめる公園です。 ③ 利再来留館(リサイクルカン) リユース(再利用)を目的として粗大ゴミから再生可能な家具などを手直しして販売しています。	
16日	① 京王線地下化工事 京王線の地下化まであと1年・・・ 線路の下の「今」をお送りします。	
31日	② だるま市 東京に春を呼ぶ深大寺のだるま市です。 ③ 染地剣道会 幼稚園生から成人、年輩の方まで幅広い年代の方々が、大家族のように仲良く練習しています。	

ラジオ番組

調布わくわくステーション(略称 わくステ) 調布FMにて放送 <83.8MHz> 毎週火曜日 21:30～21:45

1日	肝付 兼太さん (声優・演出家)	劇団『21世紀 FOX』の創設者でもあり、演出家。声優でもご活躍の肝付さんのお声はきっと耳にもお馴染みだと思います。ユニークなお話がいっぱいです。
8日	関谷智恵子さん	隠れ家カフェ「カフェスイート」のオーナーさん。居心地の良さにリピーターになること間違いなし。暖かいオーナーさんとお話すると心もほわっとしてしまいます。
15日	関森道子さん 宇根直次さん	『野川の桜を楽しむ会』の代表&前代表。(株)アークシステムのライトアップで幽玄な世界を醸し出す野川の桜、その陰にはいろいろな方々の協力があります。
22日	杉山 綾子さん	日本フィルハーモニー交響楽団の広報担当。敷居が高く感じられるクラシックですが、オーケストラの皆さんのことや、楽しい音楽会の事を教えて下さいます。
29日	杉山 裕子さん	ちょうふ子育てねっとわーく『ちょこネット』の代表、子育て中のパパ、ママは必見、いや必聴。子育てに大切な知りたい情報収集と発信、子育てを考える大切な役割を担います。

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。

<http://www.chofu-catch.tv/>

調布市民放送局

検索

【編集後記】 桜前線の北上とともに、いよいよ水ぬるむ季節を迎えました。弥生3月、街角では別れと旅立ちのドラマが展開します。私たち調布市民放送局も、NPO法人として歩み出す日が迫って来ました。来月号も情報満載でお届けします。乞うご期待！(romi) [編集・発行]調布市民放送局 catch@chofu-catch.tv